

## NY マーケットレポート (2016年8月23日)

NY 市場では、序盤に発表された米新築住宅販売件数が市場予想に反して、2014年5月以来の大幅な伸びとなり、2007年10月以来8年9ヵ月ぶりの高水準となったことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。しかし、米国の早期利上げが意識されたことから、上昇していた株価が上げ幅を縮小する動きとなり、ドル円・クロス円はやや上値の重い動きとなった。ただ、イエレン FRB 議長の講演を控えて様子見ムードも強まっており、値動きは限定的となった。一方、南アの警察当局が、ゴードン南ア財務相に出頭命令を出したとの報道を受けて、財務相交代の懸念が高まり、南ア・ランドは対ドルなど主要通貨に対して急落となった。特に、対円では、7月12日以来の安値を付ける動きとなった。

### 2016年8月23日 (火)

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	100.23	100.29	100.00
EUR/JPY	113.35	113.55	113.23
GBP/JPY	132.26	132.30	131.89
AUD/JPY	76.35	76.65	76.29
NZD/JPY	73.11	73.50	73.08
EUR/USD	1.1309	1.1345	1.1303
AUD/USD	0.7617	0.7656	0.7614

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18547.30	+17.88
S&P500	2186.90	+4.26
NASDAQ	5260.08	+15.48
日経225 (CME)	16540	-5
トロント総合	14764.77	+16.58
ボルサ指数	47666.02	-627.44
ボベスパ指数	58020.04	+238.79

#### 8/24 経済指標スケジュール

10:00	【オーストラリア】7月DEWRインターネット求人指数
14:00	【日本】6月景気一致CI指数
14:00	【日本】6月景気先行CI指数
15:00	【ドイツ】2Q GDP
15:00	【ドイツ】2Q 個人消費
15:00	【ドイツ】2Q GDP
17:00	【ポーランド】6月失業率
17:00	【ノルウェー】6月失業率
17:00	【南アフリカ】7月消費者物価指数
17:30	【英国】7月BBA住宅ローン承認件数
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【米国】2Q住宅価格指数
22:00	【メキシコ】8月消費者物価指数
23:00	【米国】7月中古住宅販売件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1346.10	+2.70
NY 原油	48.10	+0.69
CMEコーン	337.25	-5.25
CBOT 大豆	1013.50	-2.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.74%	0.74%
3年債	0.86%	0.85%
5年債	1.14%	1.13%
7年債	1.39%	1.39%
10年債	1.55%	1.54%
30年債	2.23%	2.24%

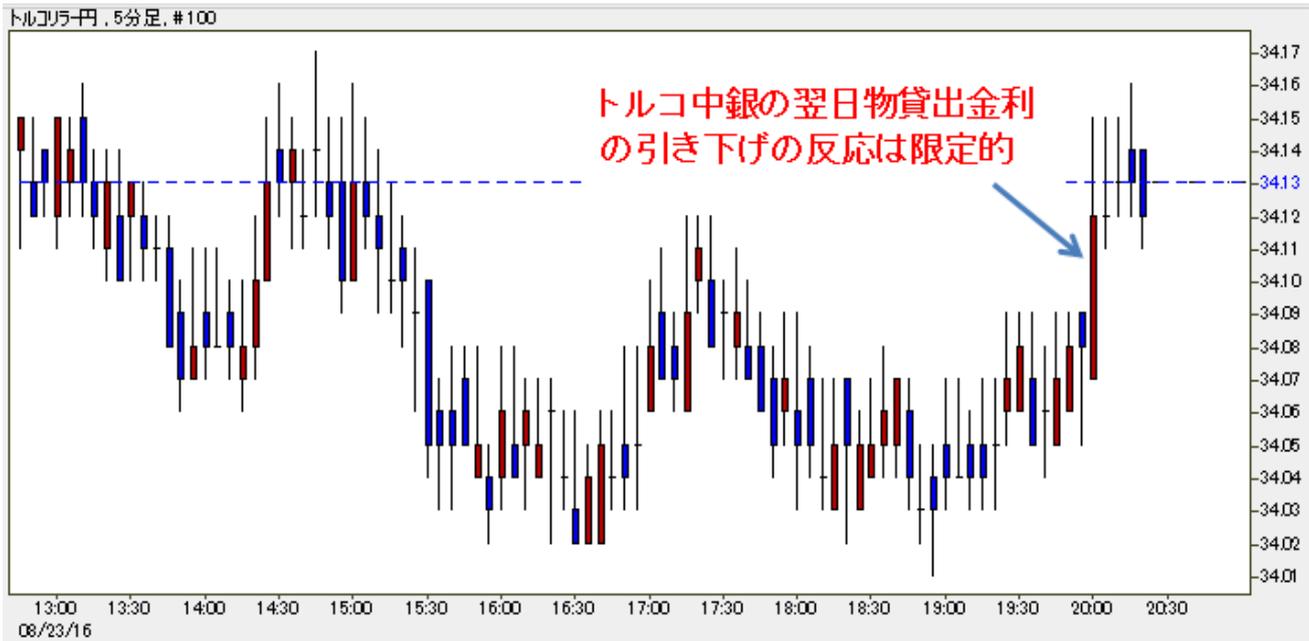
#### 8/24 主要会議・講演・その他予定

・米5年債入札

出所：SBILM

## NY 市場レポート

トルコ中銀は、市場の予想通り、上限金利である翌日物貸出金利を0.25ポイント引き下げ8.50%とし、6ヵ月連続で引き下げた。1週間物レポ金利は7.50%に、下限金利の翌日物借入金利も7.25%で据え置いた。7月15日のクーデター未遂事件発生後にトルコ中銀総裁が、食品価格が高騰し、インフレ率が顕著に上昇するだろうと述べていたことから、翌日物貸出金利の引き下げが続くと予想されていた。



22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月メキシコ小売売上高 (前月比) 1.0% (予想 -0.3%・前回 1.2%)

6月メキシコ小売売上高 (前年比) 9.4% (予想 7.0%・前回 8.6%)

◀ 経済指標の結果 ▶

8月マークイット米国製造業 PMI 52.1 (予想 52.6・前回 52.9)

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米新築住宅販売件数 65.4万件 (予想 58.0万件・前回 58.2万件)  
 前回発表の59.2万件から58.2万件に修正

7月米新築住宅販売件数 (前月比) 12.4% (予想 -2.0%・前回 1.7%)  
 前回発表の3.5%から1.7%に修正

経済指標データ

◀ 新築住宅販売 ▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
販売戸数	65.4	58.2	57.2	57.0	53.7	52.5
前月比 (%)	12.4	-1.7	-0.4	6.1	2.3	-0.2

(万件)

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
北東部	3.5	2.5	3.2	4.0	3.2	2.9
中西部	8.4	8.3	7.2	6.1	6.8	5.9
南部	39.8	33.7	32.7	32.4	30.5	29.0
西部	13.7	13.7	14.1	14.5	13.2	14.7

(万件)

7月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比+12.4%の65.4万件となり、2007年10月以来8年9ヵ月ぶりの高水準となった。プラスは5ヵ月連続で、伸び率は2014年5月以来の大きかった。また、前年同月比では31.3%だった。

①市場に出て売れ残った住宅在庫は、7月末時点で前月比-2.9%の23.3万件と2ヵ月ぶりのマイナス。在庫は販売の4.3ヵ月分に相当し、前月から0.6ヵ月のマイナスとなり、2013年6月以来の低水準、適正水準とされる6.0ヵ月を下回った。

②販売物件の中間価格は、前月比-5.1%の29万4600ドル、前年同月比では-0.5%。平均価格は、前月比+0.7%の35万5800ドル、前年同月比では+4.1%。

③地域別では、北東部が+40.0%、中西部が+1.2%、南部が+18.1%、西部は横ばい。

### ◀ 経済指標の結果 ▶

8月リッチモンド連銀製造業指数 -11（予想 6・前回 10）

#### 経済指標データ

##### ◀ リッチモンド連銀製造業指数 ▶

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
景況指数	-11	10	-10	0	10	17
出荷	-14	7	-8	-3	13	22
新規受注	-20	15	-17	0	11	19
受注残	-21	1	-12	-12	8	-2
雇用者数	7	6	1	4	7	9
賃金	21	14	15	15	16	19

8月リッチモンド連銀製造業指数は、予想外の悪化となり、2013年1月以来の低水準となった。関連項目では、出荷が-14（前月7）、新規受注が-20（15）、受注残が-21（1）、稼働率が-19（3）と軒並み大きく低下したが、雇用者数は7（6）、賃金は21（14）となり、雇用関連の堅調さは継続している。

### ◀ 経済指標の結果 ▶

8月欧州消費者信頼感 -8.5（予想 -7.7・前回 -7.9）

#### 指標結果データ

##### ◀ ユーロ圏消費者信頼感指数 ▶

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
ユーロ圏消費者信頼感指数	-8.5	-7.9	-7.2	-7.0	-9.3	-9.7	-8.8
EU消費者信頼感指数	-7.8	-7.6	-5.8	-5.7	-6.8	-7.3	-6.6

### ◀ ポイント ▶

イランが9月26-28日に開催される国際エネルギー・フォーラムにあわせて行われるOPEC会合に参加すると関係者の話を受けて、イランが原油相場安定化に向けたOPECの行動に前向きな姿勢を示しているとの報道が材料視され、原油価格が上昇。



出所 : Bloomberg

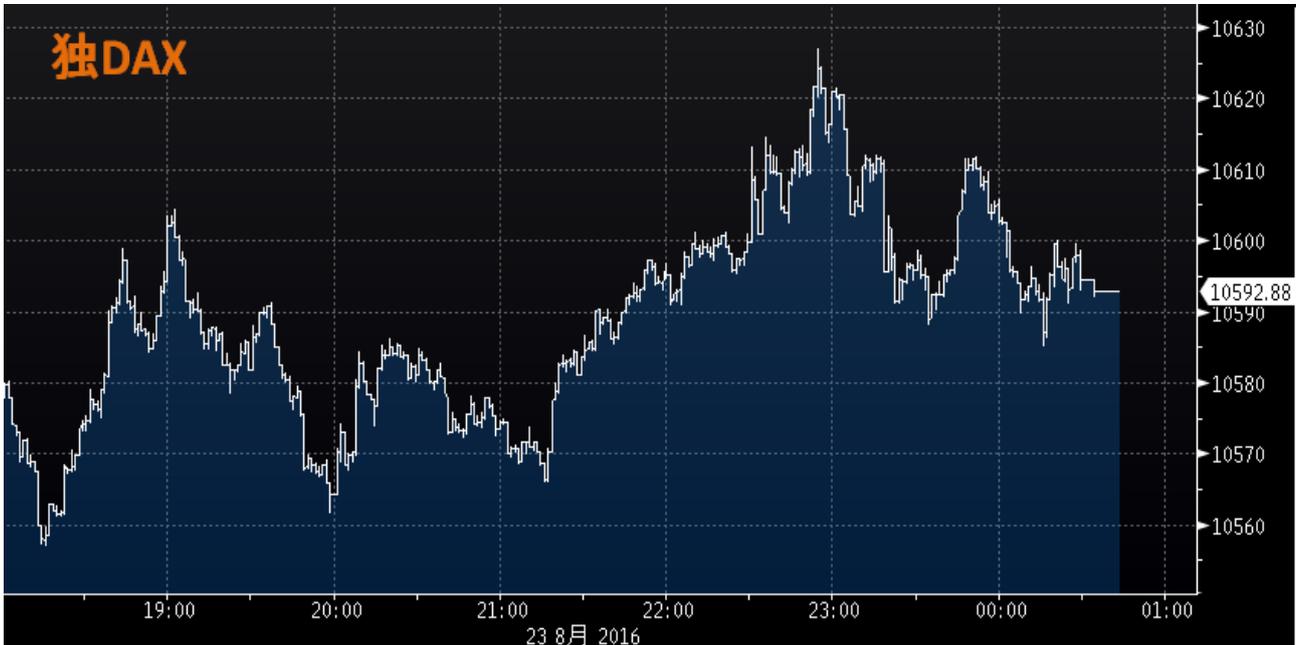
南ア警察がゴードン財務相に出頭命令との報道を受けて、南ア・ランドが下落。ただ、警察報道官が財務相の出頭命令に関して「何も知らない」と発言したことから、南ア・ランドは値を戻す場面もあった。



出所 : Net Dania

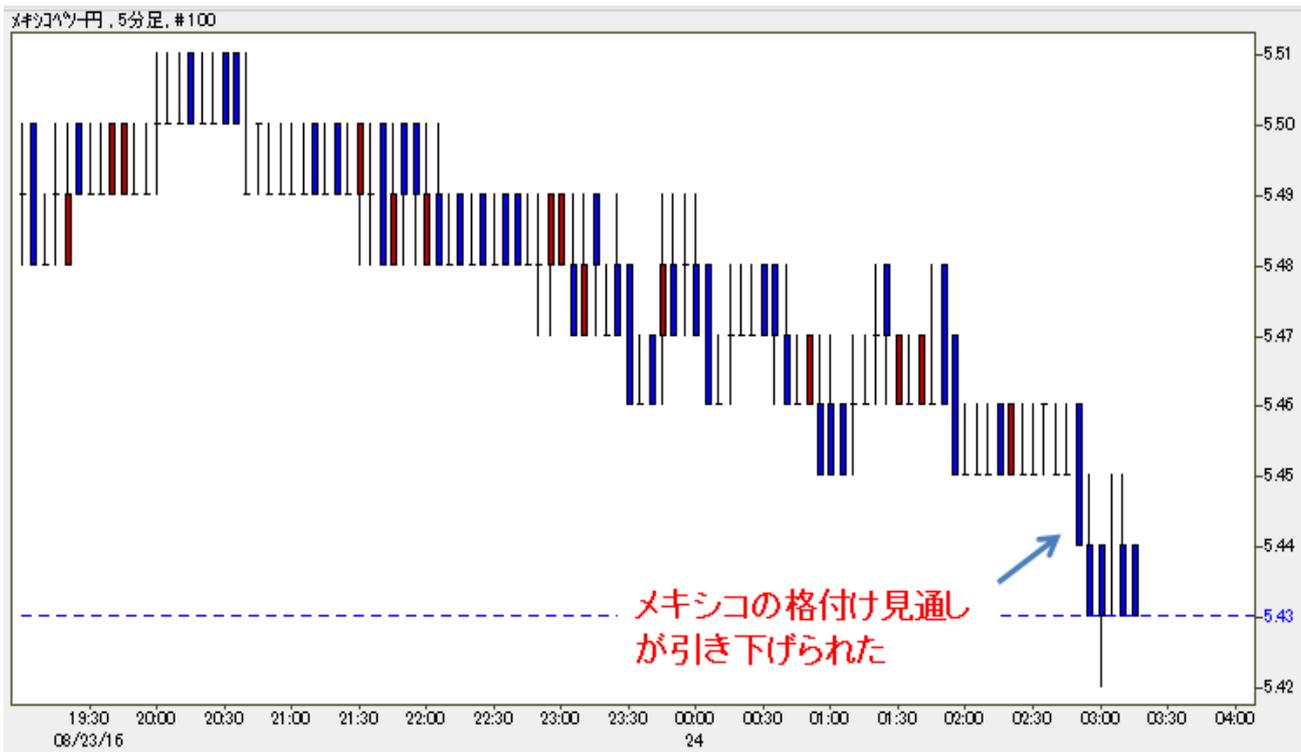
＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、序盤から堅調な動きとなり、ユーロ圏の景況指標改善で、欧州経済の先行き期待が広がったことから主要株価は堅調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

格付け会社のS&Pは、メキシコの格付け見通しを「ネガティブ」に引き下げた。ただ、格付けは維持された。



出所：Net Dania

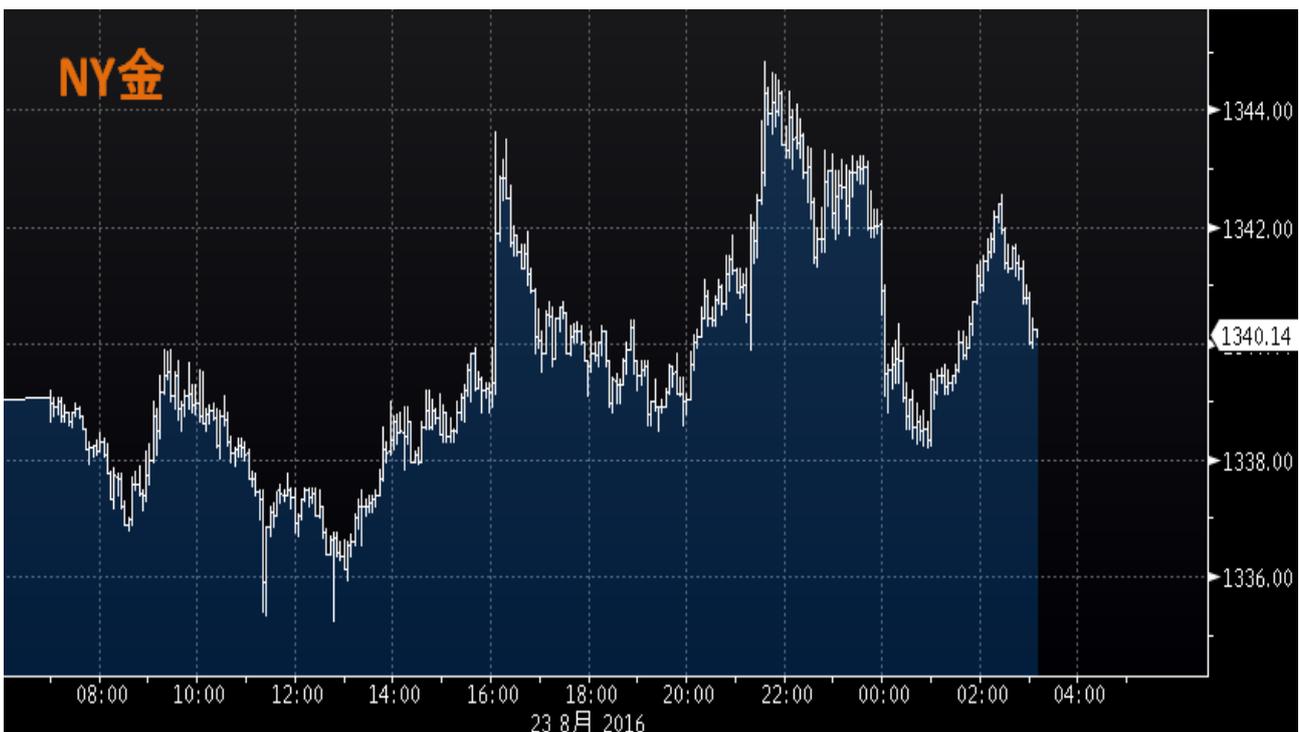
3 : 00

7月の米公定歩合会合議事録

- ・「12 連銀中 8 連銀が公定歩合引き上げを要求」
- ・「前回の 6 連銀に加え、ダラスとフィラデルフィア連銀も要求」
- ・「経済活動は引き続き緩やかなペースで拡大」
  
- ・「英 EU 離脱決定の米経済への当初の影響は限定的」
- ・「数人は米経済の見直しには不確実性が増したと指摘」
- ・「労働指標は総じて改善しているが最近は不安定さも」
  
- ・「数人は輸出関連産業の弱さが続いていると指摘」
- ・「建設部門などで熟練労働者の人手不足感が増加」
- ・「物価は 2%目標を引き続き下回った」
- ・「数人が住宅部門の改善を指摘。個人消費は横ばいか改善」

◀ NY 金市場 ▶

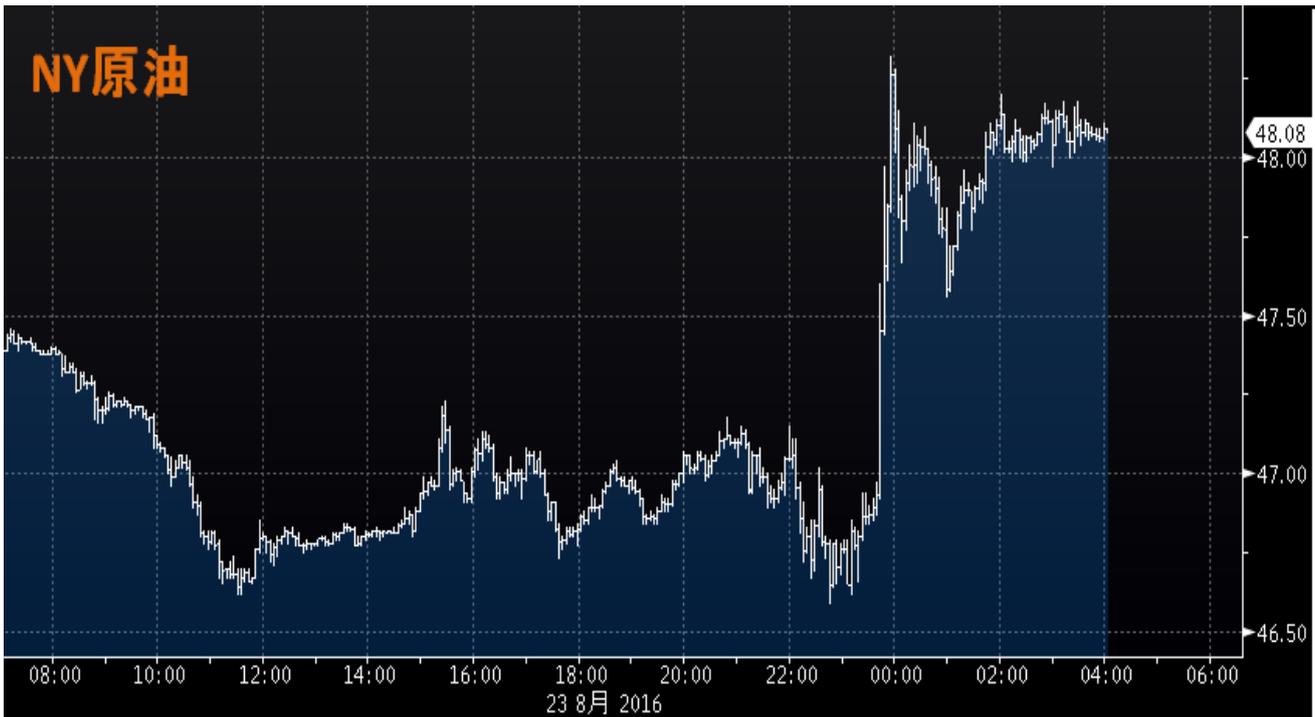
NY 金は、ドルが円などに対して下落し、ドルの代替資産とされる金の買いを促した。ただ、米 FRB のイエレン議長の講演を今週末に控えて様子見ムードも強く、値動きは限定的だった。



出所 : Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

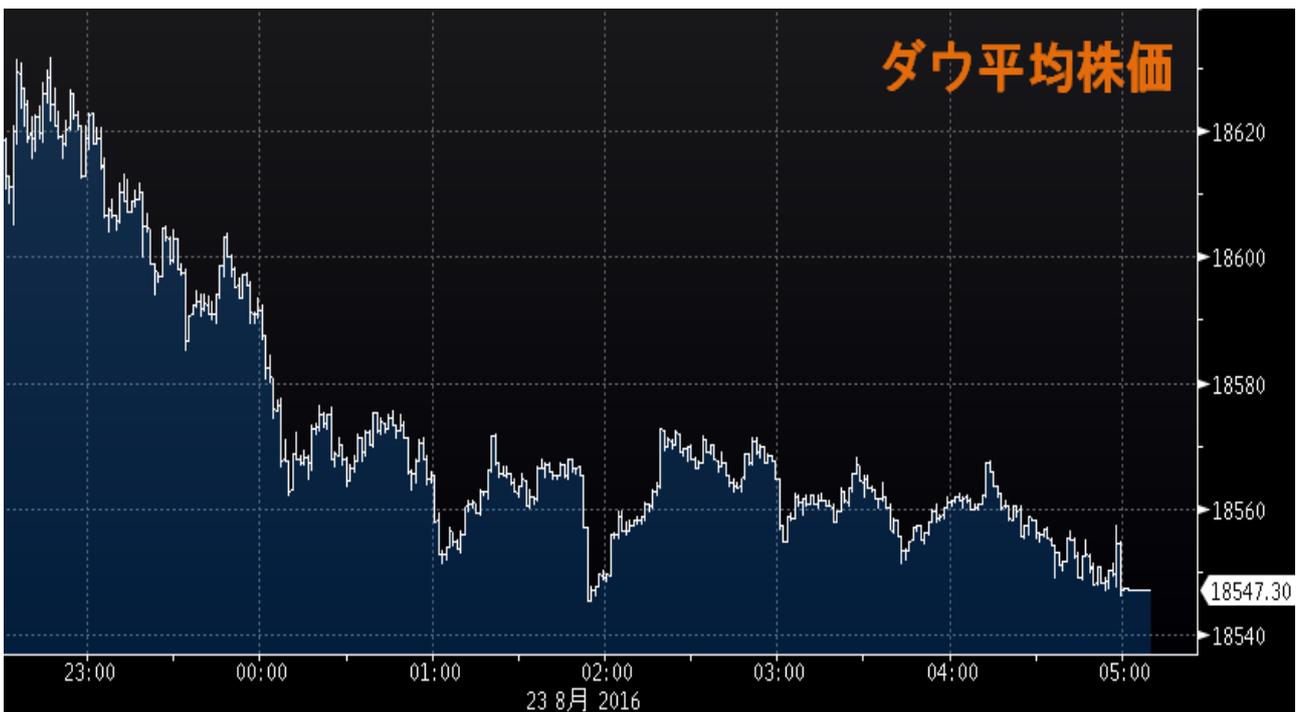
NY 原油は、原油価格の上昇に向けた主要産油国の協調行動を支持することについて、イランが前向きな姿勢を示しているとの報道を受けて、買いが優勢となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、欧州主要株価が軒並み堅調な動きとなったことが好感され、主要株価は買いが先行した。また、前日まで続落したことで、値頃感の出た銘柄を買う動きも見られた。ただ、指標結果が予想外の改善となったことで、早期の利上げ期待もやや意識され、上げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米住宅関連の経済指標が予想外の伸びとなったことを受けて、ドルが堅調な動きとなった。また、欧米の株価が堅調な動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなった。しかし、指標改善を受けて、米利上げ期待も高まり、株価が上げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は上値の重い動きとなった。ただ、イエレン FRB 議長の講演を控えて様子見ムードも強まっており、限定的な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。